

## オリジナル品種「大分果研4号」の特性

- 1 名称 大分果研4号（個体番号96034） 商品名：「ゼリーオレンジ・カンキツ」
- 2 交配 ♀高糖系温州ミカン「大津八号」 × ♂「天草」
- 3 育成機関 大分県農林水産研究指導センター 果樹グループ
- 4 育成目的

- ①消費ニーズの多様化により、本県カンキツの50%を占める温州みかんの需要・価格が低迷しており、これに変わる新たな「**おおいたブランド**」の品種が必要。
- ②消費ニーズはバラエティに富んだ、高品質な果実を求めており、従来の温州ミカンと**区別性のあるカンキツ品種**を育成。
- ③雑柑は通常は年明けの収穫となるが、温州ミカンとの交雑により**熟期を前進化**させ、**年内収穫出荷**が可能な品種を育成する。

5 育成経過

1995年（平成7年）	交配、採種、は種、実生苗育成
1996年（平成8年）	幼苗鑑定、採穂、高接ぎ
1998年（平成10年）	初結果、1次選抜実施
1999年（平成11年）	採穂、2代目高接ぎ、2次選抜開始
2001年（平成13年）	2代目結果、果実調査開始
2006年（平成18年）	品種登録調査の実施
2007年（平成19年）	品種登録申請
2009年（平成21年）	品種登録取得（平成21年3月6日付）

6 大分果研4号の特徴

- ①中晩柑が年明け収穫・出荷に対し、温州ミカン、ポンカンと同様に年内に出荷が可能な早生カンキツである。
- ②温州ミカンと比べ果実が大きく、濃橙色で、果皮がなめらかであり、区別性がある。
- ③ほのかなオレンジの香りがあり、多汁で果肉が軟らかく、上品な食味でとろける食感が特徴で、カット用フルーツとして期待される。

品 種	果実重	糖 度 (Brix)	クエン酸	出荷時期											
				12月		1月		2月							
				上	中	下	上	中	下	上	中	下			
<b>大分果研4号</b>	<b>170g 前後</b>	<b>12.5 前後</b>	<b>0.8 前後</b>												
高糖系温州 (大津、青島)	130g 前後	12.0 前後	0.9 前後												

## 「大分果研4号」



### 結 実 状 況



### 両 親 と の 比 較 （ 果 実 ）

登録申請データ

平成18年12月19日分析

品種名	果実重 (g)	果皮色	果面の 粗滑	香気 の種類	果汁の 多少	じょう のう膜	糖 度 (Brix)	クエン 酸 %	糖酸比
<b>大分果研4号</b>	<b>161.2</b>	<b>濃橙</b>	<b>やや滑</b>	<b>オレンジ</b>	<b>多</b>	<b>軟</b>	<b>12.2</b>	<b>0.76</b>	<b>16.0</b>
大津八号	135.7	橙	中	少	中	中	12.8	0.78	16.4
天 草	174.0	濃橙	滑	オレンジ	多	軟	12.2	1.09	11.1